形としての「ノモンハン」

欧州戦線中心の叙述を改め、

極東の

情勢が大戦史の然るべき場所に位置

在形である。また近年の欧米では、教訓の源泉としてもノモンハンは現 れ続けており、失敗の本質に関する 愚かな戦いをしたのかは未だに問わ

2013年(平成25年) 12月15日

●東京大学出版会・白水社・みすず書房のPR紙●

あまりに大規模で、実際これは近代 は三―四万人。「事件」と呼ぶには の戦車・航空機が投入され、 戦闘には一○万人近くの人員、千も

(ナポレオン戦争)以降、大国間で

ソ軍事衝突である。四カ月にわたる モンゴルと満洲国の国境で起きた日

ソ連と日本それぞれの傀儡国家・ 、モンハン事件とは一九三九年五

が続々と公開され始めていたこと

潮流の嚆矢でもある。

その特徴をいくつか挙げよう。

果はソ連の勝利に終わった。

この戦争については多くの本が書

発生した最初の限定戦争だった。結

かれてきたが、

日本軍がなぜかくも



共和国の国境、かつてはモンゴル人

った。そこはモンゴル国と中華人民

その「国境」は見ておきたいと思

2013 冬 No. 9

(表示価格は消費税込です)

113-0033 東京都文京区本郷 5-32-21 tel. 03-3814-0131 http://www.msz.co.jp

いモンゴルの大草原にいた。モンゴ さしかかると、国境緩衝地帯を示す ンハン事件」取材のため、国境に近 すべく、 めぐり、それぞれ「集団的自衛」を 自分も同乗する条件で、空から国境 ルの国境警備隊長は、私たちがウラ クルーは、六○年目を迎えた「ノモ 戦いを「ノモンハン事件」と記す。 る。日本の歴史書の多くは、その 掲げて相手を「膺懲 (ようちょう)」 フェンスが見えてくる。それに沿っ に接近することを承諾した。上空に ンバートルから調達した大型ヘリに とソ連軍・モンゴル軍が、国境線を 民共和国と満洲国の国境だった場 所。一九三九年、日本軍・満洲国軍 九九九年夏、私たちNHKの撮影 激戦をくり広げた地域であ

> <区切る境界は、いわば、実線ではな わたって途切れたり現われたりす る。この草と土と砂しかない大地を て飛ぶと、フェンスは所々数キロに 破線としてそこにあった。

究者だが、これらソ連軍文書の開 する私の解釈を単に裏づけるにとど 示が、「ノモンハン事件がソ連の外 みなされた「ノモンハン事件」の研 の指導を受け、後に「ライバル」と 詳細に分析していた研究者の一人は、当時、解禁史料にアクセスし まらず、さらに強固な根拠を与えて 交および軍事政策に与えた影響に関 だ。大学院生時代からクックス教授 スチュアート・D・ゴールドマン

文書にあたった。「あなた方とは別 文書を大規模に調査し始めています 館に連日通い、閲覧許可された極秘 となった。私はロシア軍事史公文書 芸員が語りかけてきたことを思い出 よ」。山のような史料に埋もれてい は、それらの問いに迫る鍵のひとつ た私を見て、笑いながらロシア人学 に、アメリカの研究者もこの新公開

ンハン事件」と「その後、ヨーロッ を極めるが、じつはゴールドマン 観点から見直す」ことに向けられて とにより、第二次世界大戦を異なる 広い地政学的な文脈に位置づけるこ かに思えるもの」の「意味を理解し、 地における孤立した軍事衝突である 主眼は、「一見、東アジアの僻遠の 描き出された戦闘経過の分析は詳細 いる。従来の研究書の多くが「ノモ



ハルハ河西岸から東岸を見下ろす (2009年7月、『ノモンハン1939』より)

う紛争が起きたのか。どのような外 ね _ _ の戦いは何をもたらしたのか。取材 交的軍事的な背景があったのか。こ う概念とは無縁の、移動が日常であ どうしてこのような、国境などとい 員がつぶやいたという言葉を大著 クスは、この戦場を見た外国人特派 究で知られるアルヴィン・D・クッ 重に秘匿されてきたソ連側軍事史料 地に五ドルだって払うつもりはない 当時、ソ連崩壊により、それまで厳 った遊牧民の生活の地に血で血を洗 『ノモンハン』に書き留めている。 「なんという荒野原だ。こんな土 -。「ノモンハン事件」の研

客観的視点で語る 世界史のなかのノモンハン スチュアート・D・ゴールドマン

> れて終わるという範囲の広さ。本 から筆を起こし、北方領土問題に触 八五三年の黒船来航とクリミア戦争

死傷者

《ノモンハン 1939 第二次世界大戦の知られざる始点》 山岡由美訳 麻田雅文解説



ノモンハン地区の国境線

ヒントを数多さしだしている。 日本現代史・第二次世界大戦史

1 |月下旬刊

|四六判・34頁・三九九|

 $\widecheck{\mathbb{H}}$

局専任ディレクター かまくら・ひでや

> N H K 制作

じたか。そもそもそれは「日本軍の 日本軍の致命的な判断ミスはなぜ生 が、まさにこの点への理解であった。 ノモンハンにおける勝敗を分けたの の非軍事的要素で成り立っている」。 めるのは主に武力(物力) 限定戦争の意味を分析している点。 こと。そして、ノモンハンにおける ら、分かりやすくコンパクトである政情とノモンハンの戦況を描きなが る点。第二次世界大戦前夜の複雑な の赤軍の勝利との関係を解明してい 判断」の問題なのか。本書は答えの し「限定戦争とは本質的に、多く 近代の全面戦争であれば、 真珠湾攻撃、モスクワ攻防戦で だ。しか 勝敗を決

事件」のさなかに独ソ不可侵条約が 当時のヨーロッパ情勢、 用語が、ロシアでまったく通じな れていた「ノモンハン事件」という 意味を、 締結されたことなど)と「ノモンハ 視している」という彼の問題意識は、 ことを知った。ロシアでは「ハルハ 略的選択の方向性を決めた要因、 た第二次世界大戦における各国の戦 ツとソ連の外交戦略(「ノモンハン 点ともいうべき位置に据えている。 ン事件」を有機的に関連させ、 取材当時、私は日本で言い慣らさ 「地球規模の影響」を与え ことにドイ その

クロ的合理的な視野から検証するこ 憶されなければならない。「ハル 人々が、国民の約三〇人に一人の割 ゴルでは「反ソ分子」とみなされた とを怠り続けた。その体質は、 底知れぬ闇を抱えた戦争でもあるの の最初の「衛星国家」とされたモン この戦争に至る準備の過程で、ソ連 高度な外交術を駆使していた。また、 河戦争」と呼ばれ、歴とした戦争 日本の読者にとって過去のものでは きたこの戦いを「事件」と呼び、 くことになる日米開戦の二年前に起 だ。一方、日本は、自国を破滅に導 河戦争」は、戦場の裏側に隠された、 合で粛清・殺害されていたことも記 本との二正面作戦を回避するための またがる大国のソ連は、ドイツ、 からだけではない。この戦争の渦中 とされる。それは、ソ連軍だけで 「事件」と呼び続けている現在も、 においても、ヨーロッパとアジアに 一万五千人を超える死傷者を生んだ 日

時が流れた。尖閣諸島・竹島・北方 ローバル・スケールで何を生み出し との摩擦が、かつてない激しさを増 領土など「国境問題」をめぐる隣国 間の問題としてではなく、それがグ 意味がある。局地的な、限定的国家 の視点が邦訳されることには大きな している日本で、今、ゴールドマン 窓がここにある。 てゆくのか熟考するための未来への モンゴル国境の取材から一五年の

史料や日本語の学習を経て読み込ま けて積み重ねられた彼の研究成果 くれるものだった」と記している。 れた日本側文書などを精査した上で は、本書に結実した。ロシアに残る 九六〇年代後半から長い歳月をか

パで勃発する戦争とのつながりを無

類史を経済学で斬る名著がつ

いに邦訳。

ーたちは…自分の領域だけを

われわれの社会のリーダ

デモクラシーは古代ギリシ

の盛衰を彩り鮮やかに描き出

〉関連書

ギリシアに先立つデモク

治や議会制は機能している いるのは、なぜか? 政党政 るかたわら、世界中のデモク 制度は、いかにして今日の形 か? デモクラシーの理念と 味を持つのか? モクラシーにとってどんな意 な経済体制・軍事体制は、デ っているのか? グローバル 感じる人びとが急激に増えて ラシー国家の先行きに不安を になったのか? デモクラシ アに誕生したというのは本当 の隆盛が高らかに宣せられ デモクラシーとどう関わ 議会外運動や世論動向

的「デモクラシーの世界史」 シー、代表デモクラシー、モ ることである。集会デモクラ 却させ、普遍主義から解放す い人間洞察にもとづいて、 たる本書は、豊富な史実と深 シーの三部構成により、画期 ラシーを欧米中心主義から脱 ータリング (監視) デモクラ 本書が目ざすのは、デモク

> ジョン・キーン 《デモクラシーの生と死 全2巻》 森本 醇訳

主主義の危難に際し

ラシーの東方起源から、 世紀の新しい動きなど、数千 地における奇跡的な成果や今 のみならず、戦後インドや各 争と社会的独裁による壊滅。 欧米における発展と、全面戦 世界各国に及んでいる。

①51頁®96頁·各六八二五円) 写真多数。[解説·猪口孝] 世界に発信する、恐るべき政 治学者の、快著登場である。 ようになった。シドニーから が、ようやく日本語で読める で。 [政治思想・世界史] (A5 詳細目次は小社ウェブサイト 海外で高く評価される本書



をキーワードに、一万年の人 栄を手にしたのか。「信頼」 類は、どのように協力し、繁 部族でいがみ合っていた人 山形浩生・森本正史訳ポール・シーブライト 経済に目覚めたか? と ≪殺人ザルはいかにして 業人、ジャーナリスト、教授 ておこう。信頼できる文明の 政治家、裁判官、銀行家、産 メカニックはだれだろう? ヒトの進化からみた経済学》

万年の人類史を経済学で斬る

ろう? この文明が崩壊した はいかない。だからいま動い ら新しいのを買い直すわけに はだれを頼りにすればいいだ る。そしてそうなったら復旧 あるだろうか? もちろんあ ている文明をきちんと補修し 「この文明も壊れることは 視眼状態にあるのは、システ らがそういう楽観主義的な近 動しかしておらず、システム どうにかしようと、卑近な活 陥なんかじゃない、とポール・ ムの嘆かわしい矯正すべき欠 はまったく無頓着。でも、彼 あらゆる面でわれわれの生活 全体が依存している複雑性に の建物は、その構造がしっか を形成する社会という構築物 はむしろ社会を動かす力だ。 シーブライトは論じる。それ

2013年(平成25年)12月15日

眼的な信頼に依存しているの だ」(序文) [経済学] 【一月刊】 にかけなくて良いという近視 (四六判96頁・予三九九〇円)

物語が生まれる場所

ウグスティヌス、トマス・ア

西尾哲夫 《ヴェニスの商人の異人論 人肉一ポンドと他者認識の民族学》

れる著者は積年の研究成果に 物語には、どれだけの普遍的 究されている。しかし、この ェイクスピア学者によって研 の人肉という条件。源流はシ れ渡った借金返済不能の場合 基づいて、世界中に分布する アラビアンナイト研究で知ら な広がりがあるのだろう? 人肉一ポンド」モティーフ シェイクスピアの戯曲で知 らアラン島に及ぶ。この深層 を、物語の構造によって明か 拠っているのか? 意識は、どのような他者観に からヨーロッパ各地、 わる類似物語の範囲は、中東 為を背景とする他者との関係 民話や、古来より文字で伝 富の還元、自然との交換行

比較分析を試みる。 そうとする意欲的著作。 「文化人類学・比較民話学

運動の論客。 T・イーグルト

していて、

政治分析を、雄渾な筆で描き EUの達成に至る歴史事象と 道を歩み始めたヨーロッパ。 介します。ともに好評発売中。 トニー・ジャットの著作を紹 死者と瓦礫の中から再生の 同じ訳者による、 自由を擁護する発言をした 『人生と運命』の作家の遺作 齋藤紘一訳 亀山郁夫解説ワシーリー・グロスマン

制収容所)の囚人だった男が のちの物語。 スターリンの死後に出所した ために二九年間、ラーゲリ(強 でささやかな職を得た彼は、 般社会に戻った。地方都市 かつての青年は老人として

切った『ヨーロッパ戦後史』

(全2巻、各六三〇〇円)。

かつてない格差社会で政治

ॗॗॗॗ゙ 三十人の大思想家に問い返す ┉┉ 彼女にはウクライナで農民か ら穀物を収奪し飢餓に追い込 白髪が目立つが美しい女性ア ンナと愛しあうようになる。

のなかで』(二九四〇円)。 絞って書いた『荒廃する世界 代の歴史家が最後の力を振り 政府の役割を再考すべく、稀 いのか? 世論を鍛え直して の機能が果たされぬままでよ

藤田祐訳 問うてきたレシェク・コワコフスキ ≪哲学は何を 問うてきたか》

えるものを本当に信じられる 在するのか? われわれは見 何かを知ることができるの か? なぜこの世界に悪は存 てくれるか? いかにすれば 自然はわれわれを幸せにし 魂、自由意志と意識、などの 善と悪、真実と美、

のか?

した本書は、ソクラテス、 最高の哲学者の一人レシェ ク・コワコフスキが最後に遺 れわれの琴線にも触れ、生き る。二〇〇九年に没した現代 方や世界の見方を教えてくれ 掻き立てた問いは、今日のわ 古来より大思想家の興味を

レイモンド・ウィリアムズ《共通文化にむけて 川端康雄編訳

類の、なんらかの深く真のオ を提示し続けたニューレフト ズの先駆者にして、一九五(の分析――そのすべての中 ルタナティヴを提示するため けるためではなく、新たな種 まで新たな「オルタナティヴ のサッチャー政権下にいたる 心に来るのがコミュニティの 年代末から新自由主義勃興期 カルチュラル・スタディー 一この社会と折り合いをつ

本性だと思います」

《万物は流転する》

りあうふたり。ところが、ア ンナが癌の宣告を受ける…… て従事した過去があった。 んだ政策に、党の活動家とし 生涯で一番大事なことを語

アリティを勝ちとる」(亀山 史が想起される。「自由の真 多様な結社から十月革命へ、 だけである。この認識によっ は、自由の恐ろしさを知る者 ロシアの革命運動の壮大な歴 スターリニズムへと至った、 て、グロスマンの文学はドス の意味を語ることができるの トエフスキーの文学に迫るリ 農奴制と皇帝専制に抗した

[外国文学]【十二月下旬刊】

を絞り、その真髄を語る。 想家による最重要問題に焦点 クィナス、デカルト、ニーチ ェ、ヤスパースら三十人の思

りつづけていることを、大思 想家に問い返しつつ、指し示 がわれわれの存在の中核にあ フスキは、これら不朽の観念 すのだ。 [哲学・神学・思想史] テーマを熟考しながらコワコ 治安維持法の成立、普選運動 ほか、複雑で広範な潮流だっ 意したが、現実には、米騒動、

(四六判25頁・予四四一〇円) 【一月中旬刊】

文化思想家の全貌 果から、単著に収録されてい すべて本邦初訳 文化研究 Ι

化の理念」「マルクス主義文 集版 (全二巻)。 Ⅰは 「共通文 家」の全貌を示す日本独自編 ンいわく一戦後イギリスが生 んだもっとも優れた文化思想

年にいたる文化論を収録。 すべて本邦初訳、初期から晩 「ウェールズとイングランド」 化理論における土台と上部構 ド・ホガートとの対話一篇、 ほか論考一六篇とリチャー 造」「社会主義とエコロジー」 [現代思想]【十二月下旬刊】

> 日本翻訳文化賞受賞 訳者の齋藤紘一氏は

(四六判30頁・予三九九〇円) 五十年の研究成果を集大成

主主義を歴史的・内発的に用 大正デモクラシーは戦後民

た。著者は50年以上の研究成 党について、である。 ない16論文を精選する。 問題意識は相互に関連する

満州事変にいたる政治史。 の発展」は第一次大戦後から 直接対応。第三部「政党政 産党勢力の動向と、権力側の 反権力の先頭に立った日本共 成と治安立法」は、米騒動後、 問研究の出発点となったテー マ。第二部「日本共産党の結 八年の米騒動」は、著者の学

書けない。史料をたんねんに こと。既存の学説とか他の研 次である」(「はしがき」) 究者の言っていることは二の 自分の考えを、まず尊重する 読み、おのずと浮かんでくる 「問題意識だけでは歴史は

生彩に溢れ、何よりも人物た も危険な書」とされた。「こ の運命を描き、ソ連時代に「最 ちが生きている」(日経新聞) れない」(毎日新聞)「描写は おろか、現代世界のことも語 れを読まずして、現代小説は 権力のメカニズムと抗う人間 する歴史長編小説(全3巻)。 物理学者一家をめぐって展開 ングラード攻防戦を舞台に、 『人生と運命』はスターリ

エーバーの日本

1995



2·3 各四七二五円 [4刷 ▶1 四五一五円 [5刷]

松尾 第 《大正 デモクラシー 期 政治と社会》 0)

ついて、②それらに対決して きた日本共産主義と日本共産 一つ、①天皇および天皇制に 三部構成の第一部「一九

[日本近代史]【一月中旬刊】

人生と運命』全3巻で

み

サリヴァン、アン《始まりの本》 現在まで。重版。野口雅弘他訳 七八七五円読まれるか。受容の始まりから大塚、丸山、シュヴェントカー なぜウェーバーは日本で る」。著者の論考を初めて集成。 三一五〇円うしてはいけないということが強調されてい中井久夫 「サリヴァンの精神療法論は、こ 受容史の研究 1905-マックス・ウ

科学哲学

場の研究から提示。佐藤 ・化学的原理で説明 ・化学的原理で説明 ・化学的原理で説明が 。**佐藤直樹訳 五四六〇円**で説明可能になるのか。先はどのように出現したのか。

ロレンス游歴

検証した第一級の作家・作品論。四四一〇円解体から存在の闇を照射する。伝記を批判的肝上義夫 精緻な作品分析によって、神話の

あざやかに読み解く英国百年史。三七八〇円まで。作家と民衆文化の埋もれたつながりを川端康雄 ラスキン、モリスからオーウェル イギリス文化・文学論 葉蘭をめぐる冒険

·書、待望の新版。**原田光子編訳 四七二五円**れた44年にわたる友情の往還、全20通。幻のれた44年にわたる友情の往還、全20通。幻のリッツマン編 音楽への愛によって強く結ば ヨハネス・ブラーム クララ・シューマン ス **友情の書**簡

貧乏人の行動経済学 善意で貧困は なくせるのか?

さしく紹介。**清川訳** る手法を多数盛り込み 訳 澤田解説 三一五〇円込み、開発経済学の今をや人間心理の欠点を回避す

かによみがえる十九篇の肖像画。二九四〇円家/エッセイストが描く出会いと別れ。鮮や家/エッセイストが描く出会いと別れ。鮮や野見山暁治 九十歳を超えてなお隆々たる画 遠ざかる景色〈大人の本棚〉

大戦間期の 宮中と政治家

人物群像から見る時代の真の姿。四二〇〇円重大事件」はじめ、浜口雄幸、田中義一など黒沢文貴 裕仁親王の結婚をめぐる「宮中某

書のけものみち。稲川方人解説 二九四〇円行脚まで。映画・文化史家が縦横に綴った読田中眞澄 児童書再読から「日々の糧」古本 本読みの獣道

の結晶、全編書き下ろし完結。一五七五〇円綴られた日系移民文芸⑪年の軌跡。長期取材細川周平 捨てきれぬ母国語を慈しむように 日本語の長い旅 [評論] 日系ブラジル移民文学 ェ

j ず 書房新刊 2013 1 1 11

1

東京・文京・本郷5 (価格は税込です)

孤独な群衆 [全2巻]

メリカの精神科医

がき」他を付す。加藤秀俊訳 各三三六〇円 加上スマン 個人と社会、時代との関わりを

大隈重信関係文書のは

田大学大学史資料センター編 一二六〇〇円 益田孝、松方正義など!98名・88通所収。早稲 福沢諭吉書簡22通はじめ、前島密、牧野伸顕、

合理的選択

らの贈り物。重版。松井彰彦訳 三三六〇円 決定理論のエッセンスを平易に語る経済学か ギルボア ミクロ経済学、ゲーム理論、意思

漁業と震災

食文化を守るための漁業経済学。三一五〇円、」をとり戻す。漁業を再生し、自然・集落・い」をとり戻す。漁業を再生し、自然・集落・沿りわ

ソウル・マイニング音楽的

哲学を全公開。鈴木コウユウ訳 三九九〇円ューサーが、演奏・録音の秘密と自身の音楽ダニエル・ラノワ U2、ディランのプロデ

ークの未来。柴田訳 安西監訳 二七三〇円研究が切り拓く、人間の意思伝達とネットワペントランド MITメディアラボの先覚的 非言語コミュニケーションの科学正直シグナル

メディアの表象と翻訳行為 ボスニア紛争報道

翻訳の不可視性と政治性に挑む。六八二五円浮彫にした問題提起の書。国際報道における坪井睦子 偏向報道の陥穽を翻訳の視点から

銀嶺に向かって歌え クライマー 小川登喜男伝

対年代の天才クライマーの肖像。二九四〇円岳の初登攀者。帝大生のアルピニスト。昭和岳の初登攀者。帝大生のアルピニスト。昭和深野稔生 一ノ倉沢、屛風岩、冬の穂高や剱

古気候学が変える地球環境観 気候変動を理学する

き環境危機の本質に迫る名講義。二五二〇円動を繰り返す動的な地球像を描出し、来るべ動を繰り返す動的な地球像を描出し、来るべ

俯瞰。森谷文昭訳(B)三七八〇円(B)三九九〇円 アジアの視点を強化し3・11後まで二世紀を ゴードン ロングセラーを大幅に改訂増補。

徳川時代から現代まで 新版 [全2巻]

日本の200年

熱。挑戦の軌跡をたどった自伝。二九四〇円教育最前線での奮闘、通訳翻訳学樹立への情傷飼玖美子 同時通訳者としての活躍、英語 戦後史の中の英語と私 うぞお早めに。(特装版一五

付録としてコロタイプによる で織られたクロス使用、特別

ムトアの建築ドローイング

限定30部。お求めはど

漁業と震災

2013年にはここに ご紹介します3つの シリーズが全巻完結 いたしました 富原真弓編訳 《シモーヌ・ヴェイユ選集

の知性を誇る人間は広い独房 か狭いかの差にすぎない。己 を誇る囚徒に似ている。…〉 刑の囚徒にとって独房が広い 知性の大小の差は、

> えがたい屈辱、不幸への同意 真理へと至る可能性を見、耐

性を見たヴェイユ。占領下の にこそ神へと向かう新しい霊

た漂泊の日々に綴られた、初 パリを逃れ、最晩年を前にし

ユダヤ教と現代思想のあい 合田・渡名喜・三浦訳 シュトラウス、 《20世紀ユダヤ思想家 ヨナス、レヴィナス 🔤 来るべきものの証人たち のうちに同居しえている。 3

の謎を託し、存在論的不安に 究」を実行した。思想に世界 ウスの思想ほど深い痕跡を残 だの知的格闘を、思想家ひと うことでは、レオ・シュトラ りひとりを光源として描き出 した思想はほとんどない」 て、「本質の手探りでの探 アカデミックな痕跡とい ハンス・ヨナスは断固と う、より明確な現象に起因し の読書をつねに哲学的生活の ている」 ▽既刊1 コーエン/ローゼ かしながらこの調和は、聖書 2 ショーレム/ブーバー/ ンツヴァイク/ベンヤミン (A5判・32頁・八四〇〇円) [哲学・現代思想・宗教] 最初の経験とみなす方法とい 既刊Ⅰ の本棚〉冨原眞弓編訳(二七 邦訳を多数含む14篇に断章と ーヌ・ヴェーユ最後の日々 命業

した全3巻の完結編。

手続きは、与えられたもののいに用心の命令を課す以上の よって熱狂を退け、人間の行 ブロッホ (各七一四〇円)

三〇円)▽J・カボー『シモ

『ヴェイユの言葉』〈大人

中期論集:労働・革 初期論集:哲学修

(各五〇四〇円)

記念碑的哲学史、 画期的訳業 山崎庸一郎訳(三五七〇円)

須田・宮武・村岡・山本訳エルンスト・カッシーラー 《認識問題 全4巻5冊 近代の哲学と科学における》 円) 2-2 (六三〇〇円) 3

尊厳という原理を教える」

ユダヤの伝統と哲学とが調和

ーレヴィナスにおいては、

た、ドイツの哲学者カッシー 前から二十世紀までを描い ましたように、ルネサンス以 しました。▽『認識問題』1(八 巻・5冊の画期的訳業が完結 ラーの記念碑的哲学史、全4

TÉMOINS DU FUTUR

四〇〇円)2—1(五七七五 本紙6月の号でもご紹介し 認識問題

死んでゆく知的な人間よりも 狭い独房にいる人間にこそ、 偽りの自由と安寧のうちに 後期論集:霊性・文明論 ≫ 今年、来日された

最晩年を前にした思索

著者たち 講演会・音楽会 など レポート

れました。札幌では町づくり あり、満場明るい熱気に包ま ディアテークでの建築家・伊 館長、現ボローニャ市図書館 交流、鳥取では鳥取短期大学 に取り組む建築家グループと ち約三十名の飛び入り聴講も やウルグアイの建築の学生た た。鷲田館長、奥山仙台市長 の機能について語り合いまし 民の活動拠点としての図書館 各地を訪問。伊東氏とは、市 都、東京と好奇心いっぱいで りに、札幌、鳥取、島根、京 東豊雄氏との公開対談を皮切 協議会理事、『知の広場』著者) (元サン・ジョヴァンニ図書 ■アントネッラ・アンニョリ 五月二十五日、せんだいメ でホロコースト第二世代の課 柳与志夫解説(二九四〇円) 図書館と自由』萱野有美訳 再訪を約束されました。 京都外大、日比谷図書館な 題をわれわれに提示したイギ 会い、アドバイザーとしての ど、各地で自分たちの図書館 んと夜更けまで意見交換。他、 むすぶブックカフェを企画運 リス在住の作家エヴァ・ホフ 憶を和解のために』著者) づくりに力を注ぐ人たちと出 マンさんが、この秋、津田塾 ■エヴァ・ホフマン(作家、『記 営する「ポケット」のみなさ >アンニョリ『知の広場 主著『記憶を和解のために』

(A5判・29頁・五八八〇円)

【十二月二十日刊】

覚書を付す。

[哲学・思想]



関連文献として後世に残る著 者の息遣いが実感される記述 理由に、「漁業者・漁協関係 行政学等(…)重要な大震災 (…)協同組合論、地域経済論、 ■濱田武士『漁業と震災』 漁業経済学会賞受賞。授賞 印刷産業連合会会長賞受賞。 社/栗田印刷 (活版)、製本・ 装幀・須山悠里、印刷・精興 かな眼差し』岡田温司解説 造本装幀コンクールで日本

2013年(平成25年) 12月15日

を考える』鈴木仁子訳

■ペーター・ツムトア『建築

版は、著者ツムトア氏にアー

トディレクションをお願いし

門)、およびADC賞[原弘賞

両賞を受賞されました。特装

今年の受賞図書

エディトリアルデザインによ

葛西薫氏が東京TDC賞

表紙テキスタイル須藤玲子 企画。ブックデザイン葛西薫、 実現した日本語版オリジナル

(NUNO)。奈良の古式織機

普及版・特装版のブック&

[特別賞] (ブックデザイン部



仙台で公開対談

青木製本所。 「小林且典作品集 ひそや (三五七〇円)

記憶を和解のために

図書館の奥深さ。図書 通う』(本面下に広告)。 探る宮田昇『図書館に 館も書店も出版社も、 民として経験する街の な図書館には、自然と市民 ともに活躍できる道を た著者がこんどは一市 ントとして活躍してき ョリ『知の広場』(右記)。 が集まってくる! アンニ 屋根のある広場」のよう パリ読書センターが 編集者、翻訳権エージェ 理想の図書館をめぐ 子書籍もあります)。辻書教育』(二五二○円、電現場を紹介する辻由美『読 など、フランスの活気ある るアンコリュプティブル賞 ノス賞、 現場からの熱いレポート 月刊『みすず』に連載中。 由美「図書館の可能性」 場、地域活動の拠点とし 成田康子『高校図書館 そして情報・意見交換 て人が集まり寛げる「三 司書と生徒が模索する 町の書店が協力す

賞」、老いがテーマのクロ アクション」プログラム、 話題の「高校生ゴンクール 練り上げる小学校の「読書 バーグ『サードプレイス 能を論じるレイ・オルデン (ともに本紙七面下広告))目の居場所」の役割と機



·クセッションの一場面 (Youtube に公開)



ロシア革命 《始まりの本》

の考察

ロシア史の基本書。南塚信吾訳 三五七〇円革命としてのロシア革命を論じたソヴェト・ 歴史学の大家カーが政治的エリートの

トル』は、来春刊行予定です。 エヴァ・ホフマン『シュテッ 音楽会が、 ネ」の芸術監督をつとめ、 コーストの音楽 氏をニューヨークより招聘。 ディッシュ語の歌手兼ピアニ ッシュ劇場「フォルクスビー 大学にて開催されました。



▽関連 を聴く音楽会

見えるユダヤの民の歴史。本

ポーランドの小さな町から

紙9月の号でご紹介しました 演し、S・ギルバート『ホロトマスターの木野雅之氏も出 を中心に、映像と朗読ととも 七二五円)に収載された曲目 と収容所の生』二階宗人訳(四 日本フィルのソロ・コンサー ストのザルメン・ムロテック に当時の音楽状況を再現する 現存する世界最古のイディ ゲットー



れ、大学での授業のほか広島・ 大学の招聘ではじめて来日さ

の人々と出会い、発言されま にジュンク堂池袋店で「祖国・ した。東京では、十一月五日 長崎・福島などを来訪、多く マ理論についての講演会が開 者。筆致そのままの明晰な人 まな意見を交わすこともでき かれました。参加者とさまざ セミナー、二〇日にはトラウ と現代思想の関わりをめぐる 九月十八日にはホロコースト 充実した内容になりました。 ーストとポストモダン』著者) 東京大学駒場キャンパスで

講演会の日に、鵜飼哲氏を聞 いました。月刊『みすず』十 き手とするインタビューを行 真摯な姿勢が印象的でした。 柄と、ホロコースト研究への 八年生まれの新進気鋭の研究 ダン』(本紙四面下に広告) 一月号で読むことができます。 イーグルストン氏は一九六 『ホロコーストとポスト

ホロコーストとポストモダン ホロコーストの音楽

の輝きを伝える。[三刷]高橋啓訳 二九四〇円を生きのびたその後の人生。死者の記憶と生オランデール=ラフォン アウシュヴィッツ

われた人々

尋ね、未来を探る紀行記の名品。二九四〇円ントの生誕の国からヒトラーの砦へ、過去を 池内 紀 国が消えるとはどういう事態か。カ 東プロシアの旅 追り

ほか短篇とエッセー

を付す。好評重版。 へ大人の本棚〉 への想いをこめ紡いへの想いをこめ紡い 。中村妙子訳 二九四〇円いだ表題作に、初邦訳三篇字』の作者が早世した愛息

さまよう魂がめぐりあうとき

を歌う感動の詩小説。辻由美訳 二九四〇円と称すが、始皇帝暗殺をめぐる男女三人の愛チェン 好評『ティエンイの物語』のフラン

図書館に通う 賞本屋」事情

変貌、本と人を繋ぐ豊富な逸話。二三一〇円本好きの一市民として発見した街の図書館の本好きの一市民として発見した街の図書館の宮田 昇 出版界で生きてきた著者が、今度は

についてなど久々のエッセイ集。三一五〇円和天皇逝去にあたって書いた表題作、いじめ中井久夫 臨床経験を描いた4篇はじめ、昭

昭和」を送る

み す ず 書房新刊 2013 1 11

2

東京・文京・本郷5

■ロバート・イーグルストン

(ロンドン大学教授、『ホロコ

ヨーゼフ・ボイスの足型 (価格は税込です)

理解を深める。中川慎一郎監訳 三七八〇円関わるか。臨床記述(夢)を素材に、概念への関わるか。臨床記述(夢)を素材に、概念へのに入間に大いた人間に大いたができた。 ポスト・クライン派の精神分析

批評家によるコラボレーション。四四一〇円素顔に迫った美術家と顚末を見守った旧知の素顔に迫った美術家と顚末を見守った旧知の による初の訳詩集。富山英俊訳 二九四〇円世紀の傑作、コンパクトな初版(一八五五年)ホイットマン アメリカ詩の始まりを告げる 草の葉 初版

の言行を描くナラティヴの傑作。三九九〇円で。十七世紀英国の激動を自在に生きた能吏で、十七世紀英国の激動を自在に生きた能吏 官僚ピープス氏の生活と意見

の国の歴史をひもとく紀行文集。三七八〇円ブリンの街角等で見つけた「モノ」達から彼栩木伸明 シング『アラン島』の名訳者がダ

アイルラン

ドモノ語り

アーツ・アンド・クラフツ運動

動の全貌。川端康雄・菅靖子訳 五〇四〇円か。プレモダニズム期最大の工芸デザイン運か。プレモダニズム期最大の工芸デザイン運

させた歴史的名著。識を発見し、心理学

。松本雅彦訳 七三五〇円学という新しい学問に結実と並ぶ精神医学の祖が無意

識を発見し、心理学ジャネ フロイトと

心理学的自動症

○大人の本棚〉

付・異曲

全体の科学」のために

られる視点とは。シリーズ完結。三九九〇円明されつつある今日、こころの専門家に求め 笠原嘉臨床論集 こころが脳科学によって説

とのない古典喜劇。 可能性を広げ、豊か のない古典喜劇。

。山下純照訳 二九四〇円かに展開してきた古びるこから二百年、新たな読みの

四つの小さ

なパン切れ

たホロコーストの遺産』早川めに ──第二世代に託され▽ホフマン『記憶を和解のた

敦子訳(四七二五円)

>近刊『シュテットル』

らんになれます。

の模様はYouTubeでご イベントになりました。当日 ョンが行われ、熱気あふれる 崔善愛さんとのトークセッシ して、在日三世のピアニスト・ 音楽・ショパンを語る」と題

認識問題 3 おける [全巻完結]

の翻訳成る。須田・宮武・村岡訳 八四〇〇円へーゲル、ショーペンハウアー他。大哲学史へ上で中、シェリング、カッシーラー 本巻はフィヒテ、シェリング、

映像の歴史哲学

す映像文化論講義。今福龍太編 二九四〇円らベンヤミンまで。著者の思想の精髄をうつらべっキュー。 著者の思想の精髄をうついます。 プロヴォーク』か

概念と法の再考 プライバシーの新理論

の理論を提示する。大谷卓史訳 四八三〇円る概念を批判的に検討。多様な視角から最新といり上ヴ 法律、哲学、心理学、社会学によいのでは、

ベンヤミン/アドルノ往復書簡[全2巻] 《始まりの本》

学的ドキュメント。野村修訳 各三七八〇円きた二人の軌跡、著作成立の過程。最高の哲ナチの迫るなか「共同で哲学する運命」を生ナチの迫るなか「共同で哲学する運命」を生

アマチュア天体観測家が拓く宇宙 スターゲイザー

子訳・渡都潤一監修 [DVD付] 三九九〇円ナコア天文家たちの果てなき挑戦。桃井緑美チュア天文家たちの果てなき挑戦。桃井緑美

日系アメリカ人強制収容の記憶 ストロベリー・デイズ

日系人の記録。ラッセル秀子訳 四二〇〇円た。理不尽な偏見と差別に誇りを持ち挑んだた。理不尽な偏見と差別に誇りを持ち挑んだ 一九四二年、強制収容は行われ

リダ没後 10 年、 自伝 的

重

要作

ジャック・デリダエレーヌ・シクスー **今ヴェ** ルシ

郷原佳以訳

好評続刊

シリーズ

始まりの本 始原へ立ち帰り

何度でも

読み直したい 現代の古典

リングなテクストだ。 持つ「ヴェール」を巡って二 の帆」。この相反する意味を もうひとつは女性名詞で、「船 性名詞で、主に宗教的理由で 女性が身に纏う「ヴェール」。 人の思想家が応答する、 音異義語がある。ひとつは男 まずシクスーが、短く詩的 |voile| には、 ふたつの同

を剥がした経験を告白する。 女が、手術で眼の「ヴェール」 (フランス語で「知る」「知」) で口火を切る。強度の近視の なテクスト「サヴォワール」 真理、 た蚕、 つ卓抜した思考を展開する。 デリダが子供の頃に飼ってい のショール、織物の女性性、 フロイトのフェティシズム、 祖父から受け継いだユダヤ教 自伝的・予兆的に後期デリ 動物性への問い。 蚕の身体、性的差異、

眼の前には何が現れ、何を喪 ヴェールに別れを告げた女の 重要な著作である。[哲学・ 型判·92頁·予価四〇九五円) ダの核心へと誘う、きわめて 【一月下旬刊】(A5変

続くテクスト「蚕」で、

生誕 100 年

丸山眞男話文集』続 丸山眞男手帖の会

年に世におくった。今回、 文集』全四巻を二〇〇八一九 た丸山が生前に遺した文 百年にあたる。小社では、 などを編んだ『丸山眞男話 一〇一四年は戦後を代表す

く市民に開かれた学問をめざアカデミズムだけでなく、広 る政治学者・思想史家、丸山 章・講演・座談・インタビュ 眞男(一九一四―九六)の生

来春刊行開始 [全3巻]

丸山眞男の世界

編を三巻の予定で刊行する。

の誕生日にあたる三月

録された作品を編集して、 録された作品を編集して、続れ以後『丸山眞男手帖』に収

四〇円)。『丸山眞男書簡集』 者の皆さまにお届けしたい。 丸山眞男の言葉の数々を、読 生誕百年にふさわしい新たな 『戦中と戦後の間』(六〇九 対山眞男の著書
既刊 『自己内対話』 (二九

ウェーバーの日本』(本紙 シュヴェントカー『マックス・ 山眞男の世界』(一八九〇円) 円)。「みすず」編集部編『丸 界』(六五一〇円)。飯田泰三 笹倉秀夫『丸山眞男の思想世 四八三〇一五〇四〇円)。 〉丸山眞男研究 既刊より 戦後精神の光芒』(六〇九〇 ·丸山眞男話文集』全4巻(各

丸山眞男 神谷美恵子

■長島愛生園・長濤会 神谷美恵子 生誕10年

主催

○円)。丸山眞男手帖の会編 全5巻(各三三六〇―三九九 五〇〇名・要事前申し込み。 かれます。入場無料・先着 生誕10年 記念の集い」が開 誕百年を記念して、誕生日前 催しの詳細やお申し込み・お い生きた医師 神谷美恵子 岡山市民会館(大ホール)で、 日にあたる一月一一日(土)、 山市生まれ。二〇 「ハンセン病者の心に寄り添 市生まれ。二〇一四年の生一九一四年一月一二日、岡 岡山で

神谷美恵子コレクション『生 http://aiseien.go.jp/ < ° 戸内市邑久町虫明六五三九) 問い合わせは、長島愛生園(瀬 〉神谷美恵子の著書 既刊

きがいについて』『人間をみ の本》は医療・看護・介護の つめて』『こころの旅』『遍歴 本、そして人』(各一五七五 ケアへのまなざし』《始まり り方をみつめるエッセイ 神谷美恵子

者の記憶』鵜飼哲訳(三九 濃密なテクスト経験を通して

訳(四六二〇円)。異形の都『ならず者たち』鵜飼・高橋 矢橋透訳(三五七〇円)。そ 市/写真論『留まれ、アテネ』 勢の激動へと送り出された一〇円)。9・11後の世界情 鵜飼・大西・松葉訳(各四四 20代で書き上げた『フッサー して哲学者デリダの出発点、 のポリティックス』全2巻 を脱構築する主要著作 満喫できる本。また西欧哲学 > 亅・デリダの著書 本書に関連の深いのは、『盲)円)。絵画読解の実践を、 友愛 版(二〇一二年)を底本にし作(一九八二年)が、増補新 化論の第一人者となったディ ディ=ユベルマンのデビュー

いまや西欧における表象文

谷川多佳子・和田ゆりえ訳 発明全の・ディディ=ユベルマン 《ヒステリー

全2巻≫

0)

ルコーとサルペトリエール

ル哲学における発生の問題』 今日われわれに、『サルペト ステリーを再発見した。(…) リエール写真図像集』が残さ コーはまさしくそこで、ヒ れている。すべてがそこにあ てここに甦る。 「十九世紀末パリ。シャル

論文・対談を新編集(本面下 のすべて(一五七五円) る神谷美恵子など、人と仕事 に広告)。みすず書房編集部 編『神谷美恵子の世界』は、 12人の語 【一月下旬刊】(四六変型判

神谷美惠了 ケアへのまなざし

■ムンク生誕15周年 「生誕15周年記念

同館で三月九日(日)まで開ムンク版画展」が東京・上野の かれています。スー・プリド ○○円)は伝記の決定版。 『ムンク伝』木下哲夫訳(八 国立西

出版情報紙『パブリッシャーズ・レビュー』ご案内

-ズ・レビュー』は、東京大学出版会(5・11月)、白水社(1・ ・10月)、みすず書房(3・6・9・12月)の3社が各月15日に発行 するタブロイド判出版情報紙です。ご希望の方へ無料でお送りしています。 送付のご希望は、社ごとにお受けしています。本紙『パブリッシャーズ・レ みすず書房の本棚』は小社へ、『パブリッシャーズ・レビュー 学出版会の本棚』は東京大学出版会 http://www.utp.or.jp/(東京都目黒区駒場 4-5-29)、『パブリッシャーズ・レビュー 白水社の本棚』は白水社 http://www. hakusuisha.co.jp/(東京都千代田区神田小川町 3-24)へどうぞお申し込み下さい。

大学図書館、公共図書館の関係者のみなさまへ

本紙 3・4 面でご紹介した好評の既刊書籍を中心に、書誌詳細をお知ら せいたします。ぜひ蔵書していただきたい本を集めています。 (ISBN 978-4-622 以降◎出版年月◎ NDC ◎件名 [国会図書館])

知の広場 07562-2 ○ 2011.5 ○ 016.2 ○図書館 記憶を和解のために 07631-5 ○ 2011.8 ○ 209.74 ○ホロコースト **ホロコーストとポストモダン** 07793-0 © 2013.10 © 209.74 ◎ホロコースト **ホロコーストの音楽** 07695-7 ◎ 2012.9 ◎ 209.74 ◎ホロコースト 特装版 07679-7 ◎ 2012.12 ◎ 520 ◎建築

07752-7 ◎ 2013.3 ◎ 662.12 ◎東日本大震災

小林且典作品集 ひそやかな眼差し 07715-2 © 2012.9 © 712.1 07762-6 ◎ 2013.5 ◎ 010 ◎図書館 07377-2 ◎ 2008.4 ◎ 019.2 ◎読書指導 07789-3 ◎ 2013.11 ◎ 017.4 ◎学校図書館 ・ サードプレイス 07780-0 © 2013.10 © 361.78 ◎都市社会学 ケアへのまなざし 08367-2 © 2013.8 © 490.49

ムンク伝 07294-2 © 2007.8 © 723.3894 ◎洋画 イェルサレムのアイヒマン 02009-7 © 1969.9 © 316.88 ◎反ユダヤ人主義 20 世紀ユダヤ思想家 3 [完結] 07581-3 ◎ 2013.11 ◎ 133 ◎ユダヤ思想 **シモーヌ・ヴェイユ選集 Ⅲ [完結**] 07662-9 ◎ 2013.12 ◎ 135.5 ◎哲学

03193-2 ◎ 2013.6 ◎ 115 ◎認識論

アフォーダンス理論の先駆け

木田元・滝浦静雄訳 加國尚志解説モーリス・メルロ=ポンティ 《行動の構造

なら、その概念をそれ自身に おいて考えるならば、それは には重要なものである。なぜ 〈心的なもの〉と〈生理的な る」(本書序論より)

の成果を精緻かつ批判的に検 心理学やゲシュタルト心理学 め同時代の生理学、行動主義 とともに学位論文として提出 フォーダンス理論の現象学的 豊かな意味、「〈意識〉と〈自 証しつつ、人間の行動のもつ 三年後の大著『知覚の現象学』 展開といえる。[哲学・思想] 然〉との関係」をとらえかえ した本書は、現代に先立つア

スペクタクルになった」

【一月下旬刊】(四六変型判

に身体の演劇性を増幅してい 学/精神分析の誕生の現場を くヒステリー患者たち。こう とがき「イメージと病/悪 捉える画期作。著者の今日ま での研究を総括する長文のあ フロイトにつながる、精神医 に読み解き、シャルコーから してヒステリーの臨床医学は 11点に及ぶ写真資料を縦構 ポーズ、発作、叫び -従順 あ ビュー作。パブロフ、ワトソされたメルロ=ポンティのデ ン、ケーラー、コフカをはじ のフランスで刊行され、その てそういった区別をあらため れに与えうるものだからであ して中立的であり、したがっ て定義しなおす機会をわれわ 一九四二年、ドイツ占領下

らゆる錯乱の姿態― 熱情的態度、苦悩、恍惚、

h_arendt/ でご確認下さ



ント』上映続く 映画『ハンナ・アーレ

岩波ホールで封切りとなり、10月26日、東京・神保町の

方に求められています。映画○円)が、劇場内でも多くの なった「アイヒマン裁判」に ン』(大久保和郎訳、三九九 ト『イェルサレムのアイヒマ ついて書かれているアーレン たいへん好評です。テーマと 本、仙台、福島、金沢、宮崎、 安、佐賀で、さらに新年も熊 四、神戸、札幌、広島、伊 は、名古屋、大阪、京都、福 は、名古屋、大阪、京都、福



驚異の生態に迫る。中里京子訳 三五七〇円出す昆虫と、出し抜こうとする捕食者。その出すに虫と、出し抜こうとする捕食者。その 逃げる虫、だます虫、戦う虫食べられないために ミシンと日

者側からの歴史。大島かおり訳 三五七〇円生んだ大戦、60年代の中流意識の膨張。消費ゴードン シンガーミシンの席巻、モンペを 本の近代の創出

統合失調症の有為転変

し、精神医学のこれからを展望。三三六〇円と著者の半世紀に及ぶ臨床と実践と思考を記で著者の半世紀に及ぶ臨床と実践と思考を記する。

吉本隆明

煉獄の作法

山と渓に遊んで

評家の軌跡を読みとく思想地図。三一五〇円己表出・共同幻想論を経て母型論へ。詩人批己表出・共同幻想論を経て母型論へ。詩人批字野邦| 関係の絶対性・大衆の原像から自

塊の世代の岳人が辿った現代史。二九四〇円設立。山人たちとの交流から民俗紀行へ。団高桑信一 高度成長と登山ブーム。山岳会の

メモリースケープ

あの頃」を呼び起こす音楽

△大人の本棚〉△大人の本棚〉△大人の本棚〉△大人の本棚〉○大人の本棚○大

夕凪(ゆーどう りい) の島 史文化誌

想と島伝来の知識で掘り起こす。三七八〇円の日本史には収まらない時空世界を独創的発大田静男 凪=平和が危機のいま、本土中心

ランク フロイト 出生外傷 細澤・安立・大塚訳 ・安立・大塚訳 四二〇〇円た著者による母子関係論の-の愛弟子から精神分析界の

シェイクスピアの自由

史主義の最新成果。**高田茂樹訳 四六二〇円** 文化の中で作家は自由を表現しうるか。新歴 グリーンブラット 不自由を強制する政治と

表象を徹底解読。田尻・太田訳 六七二〇円べきか。証言から哲学までホロコースト後のイーグルストン いかに読まれ、記憶される 歴史・文学・哲学はどう応答したか ホロコーストとポストモダン

ġ ず 書房新刊 2013 1 1 11 3

み

エイズの起源

(価格は税込です) 短0三三二四-01三 東京・文京・本郷5

ケアへのまなざし 《始まりの本》

本未収録対談付。外口玉子解説 三一五〇円して見る。エッセイ、論文を新編集で。単行して見る。エッセイ、論文を新編集で。単行書の人間と神谷美恵子 病む人を個性ある一人の人間と

決定版。好評重版。山本太郎訳 四二〇〇円説の趣」。ウイルス誕生と感染爆発の謎を解くペパン 「読み始めるとやめられない推理小

に論じる現代の古典。堀潤之訳 五六七〇円ジタル転換後の視覚文化の構造・美学を精緻ジタル転換後の視覚文化の構造・美学を精緻 デジタル時代のアート、デザイン、映画

新境地をひらく、詩人の代表作。一八九○円された、静かにゆっくりと読みたい三○篇。長田弘 物言わぬものらの声が言葉となり記

ニミラ

ノクル― [詩集]

ーユーメディアの言語

読み継がれる名著。菅谷・風間訳 五六七〇円地球の歴史の解釈の歴史を、第一人者が描きり下ウィック 生物の進化と絶滅、神と自然、 化石の意味 古生物学史挿話

力と可能性を描く。原井宏明訳 三三六〇円できるか? 現役外科医が人間の豊かな発想がり入デ 手洗いの徹底で院内感染はゼロにがりたが

医療現場の常識を変えたいのエピソード医師は最善を尽くしているか

反ユダヤ主義 ユダヤ論集1

バウ』記事他。大島・矢野他訳 六七二〇円全2巻。1 は論文「反ユダヤ主義」『アウフーレント 初公刊のものも多いユダヤ論集 アイヒマン論争ユダヤ論集2

劇。上村忠男訳 田中純解説 四二〇〇円〈主体の死後〉を生きた芸術家たちへの哀悼〈主体の死後〉を生きた芸術家たちへの哀悼別。

〈オーストリアの終焉〉 前後のウ死後に生きる者たち

鳥〉前後のウィーン展望

関係文書収録。齋藤・山田他訳 六七二〇円ヤ人」はじめ『イェルサレムのアイヒマン』アーレント 2には「パーリアとしてのユダ

数値と客観性 ける信頼の獲得

迫る科学史¬科学論。藤垣裕子訳 六三〇〇円ルな知識か標準化か。客観性の政治と文化にルな知識が標準化か。客観性の政治と文化に、か。ローカ

ゾミア脱国家の世界史

バル・ヒストリー。佐藤仁監訳 六七二〇円家回避戦略だった。世界の自由民の新グロースコット インドシナ半島の民族文化は、国

ゾルゲ事件2

小尾俊人

14 社会主義運動 1

28 朝 4

姜徳相編

<u>二</u> 五.

編(一三六五〇円)

3

アナーキズム 小松隆二

9

教育2 佐藤秀夫

六五〇円)

七五〇円)

27

朝鮮3

姜徳相編

 $\widehat{\underline{}}$

2 社会主義沿革2

8

教 育 1

(一五七五〇円)

五五〇円)

社会主義沿革1

松尾尊

7 特高と思想検事

加藤敬

兊編(一六八〇〇円)

太郎編(一七八五〇円)

ゾルゲ事件1

小尾俊人

現代史資料

全45巻・別巻1

12 日中戦争 4

稲葉正夫・島田俊彦編(一三

26 六五〇円)

朝 鮮 2

姜徳相編

 \bigcirc 四

38 **太平洋戦争**4 臼井勝 (一三六五〇

別巻

索引 資料編集部編

詳細案内リーフレッ

<u>ト</u>黒

年 西田長寿・植手通有「日本」社説 明治28年

年譜 西田長寿・植手通有・

15 造 14

(八九二五円)

現代憲政の運用

日本無産政党論

書簡・詩歌・回想・補遺・

島田俊彦・稲葉正夫編(一八

編(一三六五〇円)

37

大本営 稲葉正夫編 (一

45

治安維持法

奥平康弘編

社説 明治2年—27年 西田

長寿・植手通有編(一八九〇

4 「日本」および「大日本」

9 「日本」社説

明治38年

吉野作造 (九九七五円)

13

現代政治講話

編(一五七五〇円)

12

西田長寿・植手通有

明治36年

11

福澤諭吉

植手通有編(一七八五〇円)―39年6月ほか 西田長寿・

•伊藤隆編(一三六五〇円)

(一五五〇円)

太平洋戦争3

実松譲編

44

国家総動員2 今井清

姜徳相編

24 ゾルゲ事件 4 石堂清倫

衛編(一四七〇〇円)

続·満洲事変 小林龍夫·

2013年(平成25年)12月15日

田俊彦編(一三六五〇円)

20 社会主義運動7

33

満鉄3

伊藤武雄·荻原

内川芳美編(一四七〇〇円

マス・メディア統制1

6

「日本」社説

明治31年

西田長寿・植手通有

編(一六八〇〇円)

41 マス・メディア統制2

2 「日本」社説 明治22年

23年 西田長寿·植手通有

7 「日本」社説 編(一六八〇〇円)

明治34年

愛山(九九七五円)

9 獨立評論 7

西田長寿・植手通有

10

馬場辰猪

太郎編(一三六五〇円)

太郎編(一一五五〇円)

極・藤井満洲男編(一六八〇

日中戦争1

島田俊彦・

台湾 1

山辺健太郎編

(一二六())(円)

34

太平洋戦争1

実松譲編

42 思想統制 掛川トミ子編

編 (二一〇〇〇円)

内川芳美編(一三六五〇円)

台湾2 山辺健太郎

35

太平洋戦争2

実松譲編

英・原朗編 (一六八〇〇円) 中村隆

社説 明治24年—25年 西田

「日本」および「大日本

8 「**日本」社説**

長寿・植手通有編(一八九〇

和葉正夫編(一六八○○円)

23

国家主義運動3

五七五〇円)

9 **日中戦争**2 臼井勝美・ 稲葉正夫編 (一六八〇〇円) 衛編 (一七八五〇円)

国家主義運動2

太郎編 (一五七五〇円)

社会主義運動5 山辺健

社会主義運動4 山辺健

極・藤井満洲男編(一五七五 伊藤武雄・荻原

6

四七〇〇円)

多田井喜生・高橋正衛編

(一三六五〇円)

藤隆編(一三六五〇円)

5

加藤寛治日記

伊

12 阿片問題 岡田菩喜生編(一八九○○円)

岡田芳政・

愛山 (一四七〇〇円)

隆・照沼康孝編(一二六〇〇

(一一五五〇円)

教育 3

五五〇円)

占領地通貨工作

陸軍 畑俊六日誌 伊藤

・高橋正衛編(一四七〇〇

太郎編(一三六五〇円)

七五〇円)

30 朝鮮₆

姜徳相編(一五

相編(一四七〇〇円)

29 朝鮮 5

梶村秀樹・姜徳

16 社会主義運動3 山辺健

(一四七〇〇円) 国家主義運動1

ゾルゲ事件3

小尾俊人

15 社会主義運動 2 山辺健

徳相・琴秉洞編(一四七〇〇 6 関東大震災と朝鮮人 姜

19

社会主義運動6

極・藤井満洲男編(一六八〇

(一六八〇〇円)

太平洋戦争5

富永謙吾

『陸羯南全集』

全 10 巻

太郎編 (一二六〇〇円)

みすず書房の

なかなかお目にかける機会がありません。小社のオン デマンド版書籍を、この紙面で一挙ご紹介いたします。 **本するシステムです。そのため日ごろ書店店頭などで** で保存しておき、ご注文をいただいた時点で印刷・製 オンデマンド版は、書籍の内容をデジタル・データ ンド版

今年の新たな オンデマンド復刊

める第5-8巻を、オンデマ 説「クレランボー」他、長篇 ロラン全集』の中から短篇小 作集』の全巻、および『ロマン・ 小説「魅せられたる魂」を収 一〇一三年は、『北一輝著 2 1

神島 支那革命外史・日本改造 国体論及び純正社会主義 二郎解説(一二六〇〇円)

北一輝著作集』全3巻 北一輝著作集

られたる魂(全3巻) 正清訳(⑥八四〇〇円⑦八九 |五円⑧八四〇〇円) ─8 小説VI─VI

解説 (一二六〇〇円) 思想家研

究セ

クシ

日

『内村鑑三とラアトブルフ』

『〈太平洋の橋〉と-

■ そのほかオンデ

マンド版

戸稲造』太田雄三

(二五二〇

『橋本大佐の手記』

中

野雅夫

文貴(九九七五円)

黒沢

澤地久枝解説(一八九〇〇円) 料雑纂 松本健一·高橋正衛· 『ロマン・ロラン全集』より 論文·詩歌·書簡 関係資 『ベルンシュタイン』 亀嶋庸 。自由と陶冶』関口正司 (五〇四〇円)

£

父圀近(五六七〇円)

『ウェーバーとトレルチ』柳

忠七 (七一四〇

エリノア・マルクス』都築

陸羯南

(五八八〇円)

東西リスト論争』小林昇

『経済から社会へ』松嶋敦茂

ヴィス序文 『ベンサムとコウルリッジ』 J・S・ミル F・R・リー 松本啓訳(五〇

評伝バーク』 中野好之(七

『イェリネック対ブトミー

人権宣言論争』初宿正典編訳

コラ・ブルニョ

自由と陶冶

レランボー 宮本正清訳 (八ン/ピエールとリュース/ク



続・現代史資料









7月 角田順校訂 3 6 月

みすずリプリント 全 20 巻

佐藤秀夫編 藤秀夫編 多田井 4 獨立評論 2 主筆・山路 愛山 (一五七五〇円) 2 副島種臣伯 3 獨立評論 1 福澤先生哀悼録 丸山幹治 慶應義 獨正部首

愛山 (一二六〇〇円) 5 獨立評論3 主筆・山路 8 愛山(一三六五〇円) 6 愛山(九九七五円) 愛山(一六八〇〇円) 獨立評論 6 主筆・山路 獨立評論 5 主筆・山路 獨立評論 4 主筆・山路

安永梧 田 中 王 郎 堂 16 井上博士と基 造 (一一五五〇円) 正統 関皐作編(井上博士と基 一五七五〇 全**督教徒**

古い政治の新しい観方 吉野作 19 正閏断案 國體之擁護清水清明編(一三六五○円) 編 関皐作編(一〇五〇〇 井上博士と基督教徒 収 星島 郎

解説 久野桂一郎訳 (二九四 小山文雄(五五六 野田良之 野田良之(五六七〇円) 『新渡戸稲造』 松隈俊子(六 東京電報

日本

九二五円)

宮下啓三沢、

『サミュエル・ジョンソン伝』 中野好之訳(一二六○○円) ・ジェームズ・ボズウェル

フリーデル

近代文化史』1

/ 宮下啓三訳 、

五七〇円)

サミュエル・ジョンソン伝

"**中村草田男論**』 宮脇白夜

翻訳と異文化』

北

條文緒

『**昭和憲兵史**』大谷敬二(三三六〇円)

『宇垣一成日記』全3巻 明治35年9月—昭和6年 角田順校訂 四五〇円) 『近代文化史』 3 フリーデル 『近代文化史』 2

2月 角田順校訂 2 昭和6年6月-昭和14年 (一五七五

宮下啓三

允

ーゴン・

2 ジェームズ・ボズウェル

近代文化史

昭和14年3月

(一五七五 一昭和2年

3 ジェームズ・ボズウェル中野好之訳(一○五○○円)中野好之訳(一○五○○円)中野好之訳(一○五○○円)

パリ随想』3 湯浅年子

パリに生き 湯浅年子

湯浅年子 山崎美和恵編 $\widehat{\Xi}$

みすず書房

〒 113-0033 東京都文京区本郷 5-32-21 tel. 03-3814-0131 fax 03-3818-6435 http://www.msz.co.jp オンデマンド版書籍の内容詳細も、ウェブサイトに掲載しています

オンデマンド版について

オンデマンド版とは、

- 書籍の内容をデジタル・データで保存し、注文をいただいた時点で印刷・製本する 内容はオリジナル本と変わりはありませんが、装丁、外見などが異なります。
- ご注文の際には、以下の点にご注意下さい。
- 1. 注文による製作ですので、お届けするまでに2週間ほどかかります。 日数をご考慮のうえお申し込み下さい。
- 2. キャンセル・返品はお受けできません。あらかじめご確認下さい。

パブリッシャーズ・レビュー 2013年(平成25年)12月15日 第 21 号 (6) ■**哲学・思想**□『シーニュ』 □『シーニュ』 藤政司訳(三一五〇円) 郎監訳(六八二五円) 郎監訳(五九八五円) メルロー=ポンティ 書評にとりあげられた本 2013年1-12月 『シーニュ』2 モーリス・ 『モンテーニュとメラン 『G・スタイナー自伝』 『シーニュ』1 『波止場日記』エリック・ 在庫僅少本のご案内 までお気づきでなかった一冊をリストから見つけて と同時に生きつづけているのが数多くの既刊書群で ない書籍を中心にご紹介することといたしました。今 される機会も少ないまま、必要とされる時を待ってい 載されますが、新刊点数の増えるなか、品切や残部僅 ただき、ご購読いただけましたらまことに幸いです。 ^の書籍はそうした紹介の機会もなく書店店頭で展! 六○年を越すみすず書房の出版活動のなかで、 毎年作成する図書目録には作成時の在庫書籍が掲 本紙8面の記事中でも一部をご紹介していますが、首都圏の新聞を中心に、 ポンティ 今年、書評にとりあげられた小社刊行のおもな書籍を一覧にいたしました。 田中淳訳 ガイバ『ニュルンベルク裁判の通訳』 モーリス・ 鳥飼玖美子氏(日本経済新聞 12 月 1 日)同(北海道新聞 12 月 1 日) 竹内芳 竹内芳 スコット『ゾミア』 <u></u> 一 九 柄谷行人氏(朝日新聞 11 月 24 日) 在庫僅少でさしあたり重版予定の 小泉恭子『メモリースケープ』 岡田温司氏(読売新聞 11 月 24 日) 栗原裕一郎氏(日本経済新聞 11 月 17 日) □『ふさがれた道』 | 荒木昭太郎訳(四五一 - ドン『ミシンと日本の近代』 □『ロラン・ 岡茂樹・飯田朋子編 □『星星之火』永山正昭 □『ふたつのナショナリズム』 生松敬三訳(四五一五円) アート・ヒューズ 荒川幾男・ 有田英也 (六八二五円) 加藤陽子氏(毎日新聞 10月 27日)柏木博氏(日本経済新聞 9月 8日)平松洋 山光信(二八三五円)『戦後日本の〈市民社 『丸山眞男の思想世界』 子氏(読売新聞9月1日)渡辺靖氏(朝日新聞8月18日) 大田静男『夕凪の島』 田中優子氏(朝日新聞 10月 13日)上江洲儀正氏(沖縄タイムス 10月 12日) 砂川哲雄氏(八重山毎日新聞10月6日) (四五一五円) フェリス『スターゲイザー』 土田映子氏(北海道新聞 9 月 29 日) ルト 〈市民社会〉』 ウォルドバウアー『食べられないために』 海部宣男氏(毎日新聞9月22日) カッチャーリ『死後に生きる者たち』 佐々木敦氏(朝日新聞9月15日) 二九四 スチュ ガワンデ『医師は最善を尽くしているか』 中村桂子氏(毎日新聞9月8日) 百 笹 京都新聞(9月8日)吉成秀夫氏(北海道新聞9月1日)吉見俊哉氏(日本経 【 ■心理学・精神医学」 ピアジェ 波多野完治・滝沢□ 『知能の心理学』ジャン・ 済新聞8月4日) 八三五円) リューガー 兀 ン ライブラリー〉 大学人文科学研究所編 (一〇 (六八二五円) 同志社大学人文科学研究所編 同志社大学人文科学研究所編 □喜□四□記 (五三五〇円) イブラリー〉 鳥飼玖美子『戦後史の中の英語と私』 五〇円) 『支那小説戯曲史』狩野直 『生きつづける』〈みすず 『熊本バンド研究』同志社 『戦時下抵抗の研究』2 『春秋研究』 佐伯わか子・笠原嘉訳(二 『戦時下抵抗の研究』 (七三五〇円) 毎日新聞(9月8日)管啓次郎氏(読売新聞6月16日)「あとがきのあと」日 本経済新聞(5月5日)「訪問」北海道新聞(5月5日) のことば』〈みすずラ ペパン『エイズの起源』 信濃毎日新聞(9月1日)小林照幸氏(日本経済新聞8月11日) 鈴木仁子訳 ハナ・グリー 若江漢字/酒井忠康『ヨーゼフ・ボイスの足型』 狩野直喜 (三四六五円) 浅沼敬子氏(北海道新聞8月29日) ルート・ク ナイワート『ストロベリー・デイズ』 石川好氏(信濃毎日新聞・沖縄タイムス8月25日他)読売新聞(7月21日) 1 =渡辺隆次『山里に描き暮らす』 日本経済新聞(8月25日) 允 松山巌氏(読売新聞8月11日) 長田弘『奇跡─ミラクル─』 編 空井健三・鈴木睦夫訳(四 五一五円) 一『躁うつ病とてんかん』精 四『躁うつ病とてんかん』精 西丸四方・西丸甫夫訳(七八 西丸四方・西丸甫夫訳(七八 七五円) 今川正樹訳(六三○○円) □『サリヴァンの生涯』1 ネイラー『アーツ・アンド・クラフツ運動』 H・S・ペリー □『サリヴァンの H・S・ペリー 円) 方・遠藤みどり訳(6)E・クレペリン 高島直之氏(東京新聞8月11日) 今川正樹訳 (六八二五円) 学研究』 □『古史 ルネ・デュボス 信濃毎日新聞社編(一八九〇 ■社会・医学・環境問題 中井久夫『「昭和」を送る』 『人間と適応』 [第2版] 『サリヴァンの生涯』2 『古代日 鷲田清一氏(朝日新聞8月4日)斎藤環氏(「半歩遅れの読書術」日本経済新聞 E・クレペリン 西丸四 "精神医学総論』 精神医学 7月14日)池澤夏樹氏(毎日新聞6月9日) K マグダ・オランデール=ラフォン『四つの小さなパン切れ』 赤坂真理氏(朝日新聞7月21日)石田千氏(読売新聞6月23日) W -ネット『白い人びと』 木原弘二 トイレ事情』 小野正嗣氏(朝日新聞7月14日)尾崎真理子氏(読売新聞6月30日) 中井久夫・ バアツ (天三)() 栩木伸明『アイルランドモノ語り』 「訪問」北海道新聞(7月7日) 宮田昇『図書館に通う』 (七八 シュ 「著者に会いたい」朝日新聞(6月30日)小田光雄氏(東京新聞6月30日)井 訳 四 波律子氏(毎日新聞6月16日) 編 村田忠禧・黄幸監訳(九 □『周仏海日記』蔡徳金編 □『近代中国通貨統一史』岩 □『近代中国通貨統一史』岩 □『毛沢東伝』上・金冲及主□『華人の歴史』リン・パン山口定訳(五八八○円)山口定訳(五八八○円) 若島正氏(毎日新聞6月16日) 田中眞澄『本読みの獣道』 ○円・・ □四編 J・ウィーラー=ベネット J・ウィーラー=ベネッ ティン・ハーウィット 訳 [全2巻セット] 仲晃・佐々□『アイゼンハワー回顧録』 濱田武士『漁業と震災』 W ・ ヴ 『拒絶された原爆展』 『近代中国通貨統一史』岩 『毛沢東伝』 『国防軍とヒトラー』 口定訳(五六七〇円) 『国防軍とヒトラー』 (1110000 村田忠禧・黄幸監訳 |監訳 (三九九〇円) 開沼博氏(読売新聞6月2日)川島秀一氏(東京5月12日)上野敏彦氏(神 奈川新聞5月5日・沖縄タイムス5月5日他)萱野稔人氏(朝日新聞4月7日) • 渡辺靖訳 エーバ 保坂正康氏(朝日新聞 5 月 26 日) ペントランド『正直シグナル』 ラノワ『ソウル・マイニング』 管啓次郎氏 (「この3冊」毎日新聞5月26日) 佐々木敦氏 (朝日新聞5月19日) 下 1 細川周平『日系ブラジル移民文学』[全2巻] 読売新聞(5月20日) 三五〇 深野稔生『銀嶺に向かって歌え』 小竹澄栄 角幡唯介氏(朝日新聞 5 月 12 日)河北新報(5 月 6 日) Π 允 ギルボア『合理的選択』 児島寛之氏(日本経済新聞 4 月 28 日) 穴 カーラン/アペル『善意で貧困はなくせるのか?』 大竹文雄氏(毎日新聞4月21日)日本経済新聞(3月24日) □『円環の破壊』M・H・ニ神田丈二訳(三三六○円) □『白楽天』 A・ウェーリ 列室』L・ウェシュラー□『ウィルソン氏の驚異 司訳 (二六二五円) ンス・ツィシュラー 瀬川□『カフカ、映画に行く』 □『カフカ、 □『ダンテとヨーロッパ中世』 毅訳 (三六七五円) □『津田真道』大久保利謙短村岡崇光監訳(一八九○円) E・ウィレム・リンダイヤ 訳(五〇四〇円) 岡部仁・松田治訳(一一五五 アウエルバッハ マニュアル』竹前栄治・尾崎 (九七六五円) ||『米国陸海軍 ザヴォドニー『消えた将校たち』中野五郎・朝倉和子訳 根岸隆夫解説 ¥3570 『ウィルソン氏の驚異の陳 和泉勇訳(六三〇〇円) 花房英樹訳(三九九〇円) 東京新聞(3月24日) エルバッハ 高木昌史・世界文学の文献学』E・ ルヒャルト 黒沢文貴『大戦間期の宮中と政治家』 信濃毎日新聞(3月17日) シュヴェントカー『マックス・ウェーバーの日本』 本村凌二氏(毎日新聞3月10日)柄谷行人氏(朝日新聞2月24日) 『サイード音楽評論』二木麻里訳 [全 2 巻] 各¥3360 軍政/民事 東京新聞(3月3日)徐京植氏(北海道新聞2月10日) 小竹澄栄 田中純『冥府の建築家』 ¥5250 持田叙子氏(毎日新聞 2 月 24 日)谷川渥氏(日本経済新聞 2 月 11 日) 堀江敏幸『余りの風』¥2730 管啓次郎氏(読売新聞2月24日) フランクル『夜と霧』[新版] 池田香代子訳 ¥1575 鳥井雅友・細見和之訳(二歌』Ⅰ・カツェネルソン 『 歌』Ⅰ・カツェネルソン 『 小山清 堀江敏幸解説(二七二『小さな町』〈大人の本棚〉訳(八四〇〇円) 九○円) □『ハムレットの母 □『ヴァネッサ・ベ □『ヴァネッサ・ベ 為末大氏(「読書日記」日本経済新聞2月20日夕刊) ナディ 富士男訳(三二五〇円) 三六〇円) ナディ □『バーガーの娘』2 〈lettres〉 訳 □『記憶の街』佐々木美代子 バーバラ・ピム 芦津かおり □『よくできた女』〈lettres〉 ミラノヴィッチ『不平等について』村上彩訳 ¥3150 ド・パワーズ (三三五〇円) 『ガラテイア 2.2』リチャ 『ハムレットの母親』C・〇円) 『バーガーの娘』1〈lettres〉 『ヴァネッサ・ベ 『滅ぼされたユダヤの民の 藤原裕之氏(日本経済新聞1月27日) (ラ・ピム 藤山直樹『落語の国の精神分析』 ¥2730 ン・ゴーディ ン・ゴーディマ 田中優子氏(朝日新聞1月13日)松山巌氏(読売新聞1月6日) 佐々木幹郎『瓦礫の下から唄が聴こえる』 ¥2730 畠山重篤氏(読売新聞1月13日)川本三郎氏(毎日新聞1月6日) 若島正訳(三 芦津かおり 小倉孝誠氏(北海道新聞1月13日) ジャン・ジュネ『判決』宇野邦一訳 ¥3990 スコット『ヴェールの政治学』李孝徳訳 ¥3675 egル F・ 三七飛 高橋和夫氏(日本経済新聞1月6日) (今年の新刊は、本紙 2-4・7 面下広告に価格など詳しくご案内しています) ・ □『私は不死鳥を見た』メイ・ ®円) □『回想のブルームズベリー』 田尚子訳(二五二○円) 二訳 (六八二五円) □『約束の大地/アメ □『約束の大地/アメ 新正卓 (六○九○円) □『天空の立山』森下 二○○円) □『季節風』島尾伸三 四○円) □『フェッルッチョ・・ □『フェッルッチョ・・ 郎訳(九四五〇円) ⇒『飯島耕一・お子訳(四二○) 子訳(三三六〇円)ロワ 上野直人監修 ダニエル・ゲラン (三六七五円) (三六七五円) ヴァージニア・ウ □『ロジャー・ ルド □子□Щ (三六七五円) (三六七五円) (lettres) 六〇〇円) 二見史郎・辻井忠男訳(二二 L・ファン・ティルボルフ編 □『ファン・ゴッホとミレー』 □『ゴーギャン □『アルルのファンテ(三一五○円) 『飯島耕一 『飯島耕一・ 「バ 『ピルトダウン 『飯島耕一・ 『飯島耕一・ 『ヒトの変異』 村岡崇光訳 1 A ・ ア | 島尾伸三 (二九 詩 詩 詩 詩 詩レ 森下恭 え 二見史 優 築地誠 ノルフ 宮田 『F·スペン 世』小池寿 /ライ伝』 オヴィリ ッペルフェ アメリカ』 と散文』 2 数文』 散文』 数文 시 1939』

在庫僅少本ご注文書

直送をご希望の場合には、本紙挟み込みのハガキ、または本紙面でご注文を承ります。紙面をご利用のさいには、上掲の 僅少本リストの書名の始めに付された四角(□)に印をつけていただき、下欄に必要事項をご記入のうえ、郵送もしくは ファクシミリにて、みすず書房営業部までお送り下さい。代金は宅配時に引き替えとなります。1回につき送料 210円

か加昇されます。		
ご注文冊数 	合計金額 冊	_ 円 送料 210 円
お名前		
ご住所(〒)	msz みすす

£

お電話

げ書房 〒 113-0033

3

どでの在庫検索をなさいますと、品切と表

示される場合がございます。あらかじめご

承願います。

4

東京都文京区本郷 5-32-21 fax 03-3818-6435 ■ご注文について

2留意下さい。 ご注文にさいしては、 以下の点にどうぞ

なる場合がございます。ぜひともお早めに みすず書房営業部あてお送り下さい。 は本紙面に直接、印をつけて (左欄参照) ご注文は本紙挟み込みのハガキ、また ご注文いただきますとともに、品切の場合 書店への注文、もしくはネット書店な 書籍によっては残部僅少のため品切に

科学に貢献できる分野の からアマチュアがプロの

つだ。CCDカメラや

観測できたアマチュアもい

夜空も同じだという。

巻末には観測の手引きや

人も登場する。彼は音楽も イアン・メイのような有名

インターネットによって

庭でもすごいことができ

る」と語る。天文学は昔

を使える機会も与えられて

ているばかりか、観測機器

ンタビューには天文家たち に混じってクイーンのブラ

感じられる本である。

(もりやま・かずみち

エンスライター) 『スターゲイザー

幕間として挿入されるイ

へのアクセスが提供され

いる。あのハッブル宇宙望

遠鏡を使って木星の衛星を

文家は「ほんのちょっとレ

チュアの天文家に各種デー

土星の白斑を発見した天

ンズに助けてもらえば、裏

2013年(平成25年) 12月15日

から感じられる。

る。親しみ、敬意、仲間と

森山和道 ティモシー・フェリス

《スターゲイザ

桃井緑美子訳 渡部潤一監修

を読む

(DVD 付)

る人たちの集まり、インタ

ーネットを使った自動観測

精神分析臨床の現在地

藤山直樹・松木邦裕・細澤仁 《精神分析を語る》

体験されるだろう。

ァーストネームで呼んでい

しての共感がテキスト全体

彼は本文で、取材相手をフ 見つめる人たち」の一人だ。

ウィーンから逃れ、ロンドン 、と脱出したのか? 精神分析の開祖・フロイト **本書はジークムント・フロ** いかにナチスのはびこる

るのは間違っている」という。

危害を加えたとして訴えられ アーヴァルトがフロイト家に したところによれば、「ザウ

アンナ・フロイトはザウアー

てて、こうも書いている。「あ ヴァルトの妻マリアンネに宛 娘アンナ・フロイトが書き残

独り居の晩年、

孤独の思索

高橋たか子《終りの日々》鈴木晶解題

が浮かび上がってくる―― を辿っていくと、あるナチス がウィーンを発つまでの日々 づったノンフィクションであ するべくナチスから派遣され の委員(コミッサー)の存在 るだけの資金もないフロイト た将校アントン・ザウアーヴ フロイト家の不正蓄財を管理 ンドンへと逃亡した顛末をつ トが法廷で裁かれるシーンか アルトである。 ・卜の晩年に重点を置き、ロ 本書は戦後ザウアーヴァル 八十二歳の高齢で亡命す

ら始められるが、フロイトの SIGMUND FREUD

最晩年の謎に迫る 亡命の顚末

デヴィッド・コーエン 《フロイトの脱出》

高砂美樹訳 妙木浩之解説

かれたことも私はよく存じて 類を、かなり長期間にわたっ うに働いていたこと、私たち なたの夫君が私の父を守るよ の生命を危うくするような書 おります」 てご自身の机の中に隠してお

の内面だけが綴られる。朝の

謎の解明へと収斂されてい の伝記で語られてきたフロイ 新たな文書、これまでに数々 たのか とザウアーヴァルトをめぐる フロイト家のどんな秘密だっ れながら、物語はフロイト家 神分析学史に遺した功績に触 ト像を検証し、フロイトが精 っていた書類とは、果たして 〔四六判40頁・予五○四○円〕 ザウアーヴァルトが隠し持 [心理学史]【一月中旬刊】 近年公開された フランス語聖書朗読、日々の

の憧憬……。 への慨嘆、伝統的西欧文化 読書や執筆、現代の日本社会

愛する作家の墓参り、かつて 訳を持って出版社に……。 暮らしたパリ再訪、自著の仏 人で旅するヨーロッパでは、 毎年のように一

みんな亡くなり、奇妙な友情 に生きる。鮮烈によみがえる ぬ人となった。だから思い出 で結ばれた大庭みな子も帰ら 日本で尊敬する作家たちは

ほとんど無し、独り居の老女 られた時折の日記である。 まで、と思って書く」と始め いた。七四歳のとき「死の日 するもの」と書き添えられて 用紙があり、「死後、活字に に逝った。遺品に八冊の原稿 は茅ヶ崎の老人ホームで静か 天候や食事、外出のことは 作家高橋たか子 のは、たか子三九歳で死別 装幀· 菊地信義。 [日本文学· の飾らぬ老いの記録である。 た夫高橋和巳との特別な愛。 (四六判・29頁・二九四〇円) 日記文学】【十二月二十日刊】 戦後日本を生きた知的女性 証言者としての二人の詩人 …

収容所をくぐり抜け、二〇世 紀というジェノサイドの時代 〇一七〇) と石原吉郎 (一九 を語る証言者としての使命を にあって、語りえない出来事 五―七七)。ともに大戦と パウル・ツェラン(一九二

なのである」。

をあらかじめ前提とする人間 の運命のメトニミー なわち〈息の転回〉とは、死 吸気と呼気のターン、す (換喩) (四六判26頁・予三七八〇円) 詩の倫理、のありかを探る力 『非人間的なものに対抗する するモチーフがある。二人の 黙と失語といった多くの共通 もののそこには、帰郷、死者、 自らに課すことによって、 作評論。[文学]【一月下旬刊】 作品を対位法的に論じながら 祈り、人間と神、風と息、沈 ろうじて戦後を生き延びた詩 人である。詩の印象こそ違う

analyse」という言葉を使った ヴィルヘルム・フリースと のは、一八九六年と伝えられ の自己分析体験を経て、は る今日、精神分析はわれわれ 取り巻く状況が一変しつつあ の時が過ぎ、こころの科学を ている。それから一世紀以上 じめて「精神分析 Psycho に何をもたらすのだろうか? 自由連想と解釈をめぐる技 ジークムント・フロイトが

ちを描いたルポルタージュ

である。著者自身もスター

すなわち「星を

それは分かっていて、アマ ない。プロの研究者たちも ュアの役割は決して小さく

なで共有して文化の一部に

送されたドキュメンタリー 送サービス(PBS)で放

科学というものは、

しなければまったく無意味

れている。映像でスターゲ が日本語字幕付きで収録さ

イザーたちへのインタビュ

·や、望遠鏡を自作してい

星を見ることを楽しむ人た

いては、経験豊富なアマチ

太陽系外の惑星探し等にお

任者はこのように語ってい ラム」の意義について、責

が製作し、アメリカ公共放

付属している。DVDには

読書案内のほか、DVDが

本書を原作として著者自身

る。『スターゲイザー』は、

はいられない人たちがい

る。超新星や小惑星の発見、

アマチュアの力も増してい

この「アマチュアプログ

空を見上げて星を見ずに

静謐な、だが幸せな空気が 眺めているときのように の様子が収録されている。 夜空に瞬く星々を静かに チュア天体観測家が拓く (本紙三面下に広告) 的臨床で知られる細澤仁。 長・松木邦裕、そして両氏. の現会長・藤山直樹、同前会 問題、心理学・精神医学との の使用や分析の頻度、料金の 法論、トレーニング、カウチ きた三人の臨床家が、精神分 が国の精神分析界を牽引して 学び、解離性障害の精神分析 接点……。日本精神分析学会

《みすず》最近号より

ャネと彼のアメリカ人の友人

ランベルジェ「ピエール・ジ

たち」/名和小太郎「ダニエ

の音楽」を聴くという体験」 トランジュの銅版画の世界」 口裕昭「ゼル・ツェラン=レ 「地域研究のアイデア」/関 、山本太郎「夏の空と僻村の 、黒田晴之「「ホロコースト ジェームズ・C・スコット

往診」(十月号)。 H・F・エ

樹「広がりゆく「生物学の哲 の新理論』を読む」/佐藤直 ル・ソローヴ 『プライバシー

冨岡悦子≪パウル・ツェランと石原吉郎≫ どう読むか」/ [新連載] 宮 ろ」 (十一月号)。 R・イー げろ、でなければ声をあげ 田昇「諏訪紀行」(十二月号)。 グルストン「ホロコーストを 学」の息吹き」/酒井啓子「「逃

定期購読のご案内

『みすず』次号は、「読書ア

実的課題と展望を縦横無尽に

テクニカルな議論のみなら

臨床の現在地を探る、出色の また生き方としての精神分析 精神分析談義。 治療として、文化として、

(四六判・28頁・二七三〇円)

精神分析を語る

読書アンケート特集」と (各三一五円)

(送料込)を直接、みすず書 希望の方は、切手三九五円分 書アンケート」特集号のみご 発行次第ご送付いたします。 房営業部までお送り下さい 七八〇円、税・送料込)、「読 いますが(一年間の購読料三 による年間購読をお願いして 行)。本誌は原則として郵送 月合併号です(二月一日発 ンケート特集」掲載の1・2

パーソナルな精神分析観が交 生き方が立体的かつリアルに 錯し、精神分析臨床家という 所に語られる三者それぞれの や患者との出会い、臨床家と ず、自身を育んだ精神分析家 してのバックボーンなど、随

[精神分析・臨床心理学]

により、次の書籍を復刊いたしました。刊におきまして、皆様からのリクエスト第17回を迎えた〈書物復権〉9社共同復

とめた読む美術書。 アティス デッサン マティス 画家のノート 。二見史郎訳 六三〇〇円、至福の画家の全文業をま、とと色彩、色の役割と様相、

政治論集 全2巻

集。中村貞二他訳教授就任講演からずェーバー 政治 中村貞二他訳 政治へ ①五二五〇円②五六七〇円第一次世界大戦後までの論への熱い関心と冷徹な分析。

を促す画期的試み。大川正彦訳 三一五〇円で先住民族は何を経験したか。歴史観の変更で先住民族は何を経験したか。歴史観の変更のの国家間 アイヌが経験する近 辺境から眺める

体を模索。[新装版] 稲葉素之訳 二九四〇円主義を批判し独裁理論を考察。ドイツの新政主義を出判し独裁理論を考察。ドイツの新政シュミット ワイマール体制下、議会制民主 現代議会主義の精神史的地位

自分だけの部屋

評の聖典。[新装版]女性の受難史を明ら ○ 川本静子訳 二七三〇円 らかにしたフェミニズム批 立と精神的独立を主張し、

レランボー」ほか。宮本正清訳 八四〇〇円戦争のただ中におかれた自由精神を描く「夕機知に富んだ笑いの傑作「コラ・ブルニョン」、 魅せられたる魂 [全3巻] ロマン・ロラン全集 6-8 小説 VI - VII

み す ず 書房新刊 2013 1 11

4

東京・文京・本郷5 (価格は税込です)

サウンドスケープ生態学と音楽の起源 野生のオーケ ストラが聴こえる

恩恵を再認識する書。伊達淳訳 三五七〇円音楽の起源を浮彫りにする。自然の音風景の音楽の起源を浮彫りにする。自然の音風景の大きが大きが大きが大きが大きが大きが大きが大きが大きが大きが大きが大きが大きが

論文・書簡。①②一二六〇〇円③一八九〇〇円 体論及び純正社会主義」「支那革命外史」他 に一二二六事件で処刑された思想家の全貌。「国

北一輝著作集 オンデマンド版

ニュルンベルク裁判の通訳

精確に分析する。武田珂代子訳 四四一〇円の議論、通訳者の履歴と人物、歴史的意義をガイバ 通訳に主眼を置く唯一の研究。方法

る基本書を選び、復刊いたしました。しかも専門の枠を越えて長く読み継がれ本年は二回、各分野で基本文献とされ、

基本図書限定復刊 [6:10月]

サードプレイ スコミュニティの

場に並ぶ「三つ目の居場所」の機能を社会学権になる「とびきり居心地よい場所」の機能を社会学権になる「とびきり居心地よい場所」 者が多角的に考察。 目の居場所」の機能を社会学居酒屋、カフェ……家、職 忠平美幸訳 四四一〇円

1五〇四〇円②-2六三〇〇円③四八三〇円他訳①-1六七二〇円①-2七一四〇円②-フッサール 現代思想の原点。渡辺・立松

イデーン全3巻5冊

ポート。初めての高校図書館論。二五二〇円司書と生徒たちが模索する現場からの熱いレ成田康子 もっと自由で愉しい図書館を―― 局校図書館 司書がはぐくむ

点から論じる。宮島・川喜多訳 五四六〇円 施を確立するか。道徳、所有権、契約法の観デュルケム 近代社会=産業社会がいかに規

社会学講義習俗と法の物理学

科学の社会学など。森東吾他訳 九二四〇円 査を総合する理論を提示。ほか、知識社会学、査を総合する理論を提示。ほか、知識社会学、 社会理論と社会構造

め。村井章子訳 近藤和彦監修 三三六〇円小説との比較など、真摯で快活な学問のすす小記との比較など、真摯で快活な学問のすす

歴史学の将来

死を前にした人間

■書物復権

2013

中世から現代まで。成瀬駒男訳 八八二〇円遷を、豊富な史料で解明する〈死の心性史〉。アリエス 死と葬礼をめぐる根深い感情の変アリエス 死と葬礼をめぐる根深い感情の変

国家理性の理念近代史における

られた歴史分析。菊盛・生松訳 七五六〇円行。国家行動への批判という問題意識に支え行。国家行動への批判という問題意識に支えてイツで刊

観を鋭く考察する。石上良平訳 六〇九〇円 の視角で、ギリシアから現代へといたる国家 ダントレーヴ 「実力」「権力」「権威」三つ 国家とは何か
政治理論序説

オンデマンド復刊「6月」 たる魂』他一冊を復刊いたしました。『ロマン・ロラン全集』から、『魅せられ小社の創立当初の代表的出版物のひとつ

ニョン/ピエールとリュース/クレランボーロマン・ロラン全集 5 小説> コラ・ブル

る。宮本正清訳⑥⑥八四〇〇円⑦八九二五円間の矛盾、その自由や真実のあり方を追求す2世紀の時代と魂を描く大河小説。社会や人2世紀の時代と魂を描く大河小説。社会や人

とデザインが融合した感性のムと波のつかまえ方――音楽 させる極意とは。ノリとリズ

デザイナーの対談。人を感動 トランペッターと超売れっ子

国際的に活躍するジャズ・

の稀なる境地に達した言葉が

領域を語り、トップランナー

ドが開けるのではないか。す

視覚で聴く」ようなフィール

おり訳)は、

本紙6月の号で

なわち「音色の革命」

術は、音楽系とビジュアル系

「聴覚で見る・

シンと日本の近代』(大島か

んで久しい。二十一世紀の芸 らない。ジャズもロックも死

記号化したデザインはつま

タ一台あれば、ポンと押して

じで気持ち悪い。コンピュー

ネット万能社会はみんな同

ズムが見える」をお寄せいた

シンから日本近代のダイナミ も吉見俊哉氏のエッセイ「ミ

いても「なんか全部同じ」。 イラストレーションは誰が描 ジャスト。音楽に色味がなく、

11月号)、柏木博(日本経済(読売新聞9月1日、東京人

日新聞8月18日)、平松洋子

だき大きくご紹介。渡辺靖(朝

それよりも自然と日本文化

旗9月15日)、

加藤陽子(毎

新聞9月8日)、小泉和子(赤

なのである。わからないこといる。わからないから魅力的 かっていない。そこに気づく がいかに大切か、みんなわ かりやすさ》信仰が蔓延して 最高水準を行く。 日本文化にひそむ方法は世界 はめちゃくちゃファンキー! レーニングだった。日本仏教 なわち身体と口と意識のト り入れたのが真言密教「身口 ズ・ミュージシャンになろう づけるかを考えた。それで取 ら最短時間で黒人の演奏に近 と決心した近藤は、どうした 飛び出してくる 佐藤は言う。世の中、 (しんくい)」の修行、 一十歳のとき、プロのジャ



A5判38頁・予六八二五円

映画・音楽』【一月下旬刊】

いずれも独自の角度か

主演の山田五十鈴

ーキー初期から50年代黄金 ーキー黎明期の先駆的試

その作品を分析することは、 期に至る日本映画の音響創作 創造性を発揮した溝口映画。 クノロジー双方の広い範囲で の関わりなど、ジャンル、テ み、新派や同時代前衛芸術と の達成を考えることである。

対象として最適なのである。 映画の音楽・音響を考察する

そして、 る音響の効用を、

製作過程から分析していく。 担当)へのロング・インタ 稿の分析と、録音技師・大谷 ビュー等により、音響創造を 邦訳重要文献も)、それらの 議論を整理・検討する。 る質の高い文献を紹介し(未 (50年代大映作品を全て 映画音響研究に関す 津安二郎と戦争』(二九四〇だったかを問う田中真澄『小 だったかを問う田中眞澄『小収め、小津の戦争体験とは何 スペンス映画史』(三五七〇 新鋭が論じ切る三浦哲哉『サ 訳 円)。小津「陣中日記」全文を

みすず書房

近刊のお知らせ

来年 2-3 月の刊行予定から

沈黙の世界《始まりの本》ピカート 佐野利勝訳

(http://www.msz.co.jp にもご案内)

大島通義・大島かおり訳 ¥5040

みすず書房・最近の重版より

大久保和郎訳

R. ジェラテリー 根岸隆夫訳 ¥546 ピダハン――「言語本能」を超える文化と世界観

意味としての心――私的臨床語辞典 北山修

統合失調症の母と生きて ローラ・フリン

佐々木千恵訳 森川すいめい解説 シネマティック・フロンティア 川本 徹 アーレント=ブリュッヒャー往復書簡

ポール・ヘガーティ 若尾 裕訳 震災と貧困からの復興 ポール・ファーマー 岩田健太郎訳 世界の見方の転換 [全3巻] 山本義隆 丸山眞男話文集・続 [全3巻]

大島かおり・初見基訳 人生複線の思想 外山滋比古

ノイズ/音楽 史的考察

丸山眞男手帖の会編 英語化する世界と世界化する英語 ヘンリー・ヒッチングス 田中京子訳

イェルサレムのアイヒマン H. アーレント 大久保和郎訳

H. アーレント

スピノザの方法 國分功一郎

徴候・記憶・外傷

中井久夫

山本義隆

全体主義の起原 1----- 反ユダヤ主義

全体主義の起原 2---帝国主義

医師は最善を尽くしているか

A. ガワンデ 原井宏明訳

ヒトラーを支持したドイツ国民

福島の原発事故をめぐって

D. L. エヴェレット 屋代通子訳

モンテーニュ エセー抄《大人の本棚》

映画を聴覚面から分析する

長門洋平 《映画音響論 溝口健二映画を聴く》

視聴覚文化、メディア研究ほ 物語との関連から考察する。 析する理論枠組みを提示し、 本書では、溝口映画におけ 映画を聴覚面から分 映像および

る方法論として提供する。 か多方面の専門家が活用でき 作曲家本人による楽譜・手 り」の魅惑を、表彰文化論の ューメディアの言語』堀潤之 ないレフ・マノヴィッチ『ニ 文化と芸術を論じるに欠かせ (本紙七面下広告)。「宙吊

そして溝口映画こそが、日本 本映画の三大巨匠である。

溝口は、小津、黒澤と並び

音楽とデザインの融合、 ップランナーの稀なる境地

す

近藤等則・佐藤 卓 《音色の革命》

> 自分の無意識と対話しよう。 のエッセンスをみつめよう。

めご高評いただいています。 日新聞10月27日)各氏をはじ

を吹く近藤のプロジェクト はミカン山から流通社会を考 阿蘇山、阿寒湖など大自然と コーディングする気分。佐藤 対面し最大音量で電気ラッパ 《地球を吹く》は、宇宙にレ ネゲブ砂漠、アンデス山脈、

ミシンと口車の近代

四つの小さなパン切れ

1

日々《創造》に取り組む人

師は最善を尽くしているか』

アトゥール・ガワンデ『医

(原井宏明訳) には、中村桂

に。[音楽・デザイン]【二月刊】 (四六判20頁・予二九四〇円) >映画・映像文化をめぐって 号、 Щ 子 (毎日新聞9月8日)、丸

いるか。デジタル時代の視覚 映画にどれほど多くを負って ーメディアの美学や構造は、 太郎訳(四八三〇円)。ニュ ル・オンダーチェ『映画もま ー・マーチとの対話』吉田俊 た編集である―― ブッカー賞作家が語るマイケ 稀代の映像・音響編集者と **-ウォルタ** の起源』(山本太郎訳) ジャック・ペパン『エイズ

Gawande



多数とりあげられた本を、 七面下に広告。他にも書評で 以上いずれも本紙二―四・

紙六面でご紹介しています。

には、

¥3990

¥ 4725

¥ 5670

¥3990

¥ 3360

¥ 2625

¥ 5460

¥3570

¥1050

瀬名秀明(週刊朝日11 (日経サイエンス11月 戦後史の中の英語と

海道新聞5月5日)、管啓次

英語と私』には、関正喜(北 鳥飼玖美子『戦後史の中の

されたものの、 ていますが、今年は1月に『サ からも多くの作品を出版され が、評論や翻訳の功績が高く 中井先生は精神科の医師です 井久夫先生が選ばれました。 井久夫の天皇論」として発表 変』と立て続けの刊行でした。 8月に『統合失調症の有為転 医』、5月に『「昭和」を送る』、 リヴァン、アメリカの精神科 評価されての選出です。小社 『「昭和」を送る』は、「中 文化功労者のお一人に、 後に封印され

営業部だよりみすず書房 うべき名文を収める一冊を、 去と未来の間』、今秋刊行さ 体主義の起原』をはじめ『ラ 味読いただければ幸いです。 れました。著者の真骨頂とい を継続して出版しています。 ダヤ主義』『アイヒマン論争』 れたユダヤ論集全2巻『反ユ ーエル・ファルンハーゲン』『過 のアイヒマン』を本紙四面で う声が多くの方々から寄せら っと読むことができる」とい たエッセイが収録され、「や ご紹介しましたが、小社は『全 レント」と『イェルサレ 大反響の映画「ハンナ・ア レントの著書、関連書

L

アンドルー・ゴードン『ミ れましたりあげら 小林照幸 (日本経済新聞8月













サイエンス10月号)各氏ほか。 9月28日)、中西真人(日経11日)、石井光太(図書新聞





ば幸いです。本紙添付の キにてぜひご請求下さい。

みすず美術カレンダー 2014

特集「馬のいる風景」です。 年こそは跳躍、よい一年にな 描かれた馬を集めました。来 の絵画、写真、民芸品の中に たしましたように、来年版は 干支にちなんで、古今東西 本紙9月の号でもご案内い

本郷5-32-21) までどうぞ 書房営業部(〒113-0033文京区 書房営業部(〒113-0033文京区 お早めにお申し込み下さい。

ただいま王軍)、までに刊行した最新刊まで、 はもちろん、新シリーズ、 ています。ご活用いただけ、 点余をジャンル別にご紹介しただいま在庫のある一○○○ ンデマンド版に加え、最近の あがりました。ロングセラー る小社の総合図書目録ができ 毎年この時期に作成してい オ

図書目録 20年版出来